

「茨城を食べよう収穫祭」は、「笠間芸術の森公園」で開催されました。
天候にも恵まれて、たくさんの人でにぎわいました。



場所は、いつも春先に「陶炎祭」が行われるところですが、今回のお祭りには、「笠間焼フェア2013」「ストーンフェスティバル2013」も「同時開催」されましたので、各種ブースを入れるテントがたくさん並びました。



茨城^県を
たべよう **収穫祭**
会場レイアウト



同時開催

笠間焼フェア 2013
～陶と暮らし～
笠間工芸の丘

スタンプラリー

両日とも
先着 **500名**

4つスタンプを押して、テント番号10へお持ち下さい。
記念品またはキッズコーナープレイ券をプレゼント!

スタンプラリー台紙は北・東案内所で配布しています。

10:00~15:00
(記念品がなくなり次第終了)

会場は、春先の笠間焼き「陶炎祭」などが催される場所と同じですが、約200の「コマ」に分けられたテントが並びます。
これを、一通り全部見ようとすると、丸一日がかり、ということになります。

下妻市のお隣からも出展がありました。
白菜生産で有名な「八千代町」からの「白菜メンチカツ」です。





会場にはたくさんの入場者が、あふれんばかりでした。出展者それぞれの「のぼり」が立ち並び、お祭り気分を盛り立てています。

入場者の皆さんは、その間を散策し、見たり、食べたり、聴いたり、会場内は大にぎわい、です。

「茨城を食べよう」なのですが、出展者は、食品関係ばかりではありません。

笠間焼きのように「見て楽しむ」、中央ステージの音楽など「聴いて楽しむ」こともできるお祭りです。





「茨城空港」や「高校生」の出展もありました。
高校の出展は、数校、ありましたが、学内で作った野菜を販売していました。



中央ステージでは、トークショー、エレクトーン、和太鼓などの演奏が行われましたが、中でも、59年前の東京オリンピック時の「開会式行進曲」で始まった「自衛隊音楽隊」による演奏には、多くの人が聞き入り、拍手を送っていました。





この季節、この地方の名物、常陸秋蕎麦の模擬店がにぎわっていたそうです。

午後2時過ぎになっても、お祭りを見に来る人は、まだまだこれから、と言う状態で、会場駐車場に向かう道には、延々と車の列ができていました。

ちょっと離れた駐車場もあって、そこからは送迎バスが出ていますから、利用した来場者もだいぶいらっしまったようです。

